

「ほぼ日手帳2023」春の新作を発表！ 今春の朝ドラのモデル、牧野富太郎博士が描いた 植物図のデザインも登場します。

2月1日（水）から発売記念イベントも開催！特別展示と新作ラインナップが勢ぞろいします。



株式会社ほぼ日（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：糸井重里）は、4月はじまり版の「ほぼ日手帳2023 spring」を2023年2月1日（水）午前11時に発売します。新作のラインナップには、4月から放送開始のNHK連続テレビ小説のモデルとなった牧野富太郎博士が、100年以上前に描いた精密な植物図のデザインが登場。そのほか、「ななつ星in九州」などの鉄道車両や駅舎などのデザインを手掛けてきた水戸岡鋭治さんとのコラボレーションや、ミナペルホネンの大人気カバー「piece,」もspring仕様で発売します。

※ほぼ日ストア（WEB）や直営店「TOBICHI（東京/京都）」、全国のロフト、Amazonなどで販売します。

▶予告サイト：https://www.1101.com/store/techo/ja/magazine/2023/y23_spring/index.html

▶「おばんちゅうさぎ」とのコラボレーションに関するプレスリリース：<https://1101.jp/3JvRsP1>

●発売記念イベント『花よ、旅よ、おばんちゅうよ。～4月はじまりの手帳のお店～』を開催

2月1日（水）より直営店「TOBICHI（東京/京都）」にて、ほぼ日手帳の春の新作が集まるお店をオープンします。牧野富太郎博士が描いた花の植物図、水戸岡鋭治さんがデザインした鉄道での旅、可哀想に！さんの生み出す「おばんちゅうさぎ」。「spring」というテーマのもとに集結した3つの世界をご紹介します。ブースのほか、「ほぼ日手帳2023 spring」のラインナップがすべて店頭並びます。



※詳細はこちら

<https://www.1101.com/tobichi/tokyo/exhibition/detail/?p=10501>

■TOBICHI東京

期間：2月1日（水）～2月12日（日）

時間：11:00～19:00

<https://www.1101.com/tobichi/tokyo/>

■TOBICHI京都

期間：2月1日（水）～2月15日（水）

時間：11:00～18:00

https://www.1101.com/tobichi_kyoto/

● 牧野富太郎博士が100年以上前に描いた植物図が、ほぼ日手帳と文具に。

「日本植物分類学の父」として知られる牧野富太郎博士は、みずから観察して描いた植物図のうつくしさでも知られています。牧野博士が描く精密でうつくしい植物図を使用して、ほぼ日手帳と文具をつくりました。100年以上前に描かれた図でありながら、モダンでかっこいいボタニカルデザインです。



牧野富太郎博士が1901年に描いた「コウシンソウ」の植物図をプリントした手帳カバーです。墨と水彩で描かれたコウシンソウは、関東北部の山地の湿った岩上に特産する多年生の食虫植物です。

- ・手帳カバー（オリジナルサイズ・A6）「牧野富太郎/コウシンソウ」：5,390円～6,490円
- ※手帳本体+カバーのセット。カバーのみは3,520円。



牧野富太郎博士が1900年に描いた「ヤマザクラ」の植物図をプリントした4月はじまりのweeks（週間手帳）。ヤマザクラの枝、葉、果実や種子が、とことんまで精密な線で描かれた部分図（第二図版）です。

- ・weeks（週間手帳）/ 4月はじまり「牧野富太郎/ヤマザクラ（部分図）」：2,970円



手帳の書きごちが良くなると人気の「ほぼ日の下敷き」。オリジナルサイズ用には、彩色も施された「カントウタンポポ」と「ノアザミ」の植物図を、weeksサイズ用には、「タマアザミ」など4つのキク科植物の花の付き方が墨で描かれた植物図を使用しました。

- ・「ほぼ日の下敷き 牧野富太郎」：440円（オリジナルサイズ用）/528円（weeksサイズ用）



ほぼ日手帳と同じ用紙や方眼でつくった「ほぼ日の方眼ノート」。「ヤマザクラ」の全形を表した第一図版を使用して、A6とA5の2つのサイズでつくりました。牧野富太郎博士が描くヤマザクラは、気が遠くなるほど細かな線描が特徴です。

- ・「牧野富太郎/ほぼ日の方眼ノート ヤマザクラ」：1,210円（A6）/1,540円（A5）

●水戸岡鋭治さんによる特急列車「かわせみやませみ」のデザインがほぼ日手帳に。

JR九州の豪華寝台列車「ななつ星in九州」などの鉄道車両や駅舎などのデザインを数多く手掛けてきた水戸岡鋭治さんとのコラボレーションカバーです。さまざまな配色とカタチの草木の紋様が正方形のパーツとなって組子のように連なるデザイン。水戸岡さんがJR九州の特急列車「かわせみやませみ」の座席シートなどのために描いたテキスタイルのデザイン画を、ほぼ日手帳カバーとして仕立てました。オリジナルサイズ（A6）とカズンサイズ（A5）で2種類のデザインを用意しています。



・手帳カバー（オリジナルサイズ・A6）「水戸岡鋭治/草木組子（青）」：5,830円～6,930円
※手帳本体+カバーのセット。カバーのみは3,960円。



・手帳カバー（カズンサイズ・A5）「水戸岡鋭治/草木組子（緑）」：7,920円～9,790円
※手帳本体+カバーのセット。カバーのみは5,060円。

●ミナ ペルホネンの人気シリーズ「piece,」にも新作が登場。 ※抽選販売/ほぼ日ストア限定

刺繍や染め、織りといったさまざまな技法で生地を作り、長く大切に着られる服を手がけているブランド、「minä perhonen（ミナ ペルホネン）」の手帳カバーです。服を仕立てる際にできたちいさな布のかげら（=piece）を手作業でパッチワークし縫い合わせた人気のシリーズ「piece,」。オリジナルでは8種類、カズンでは10種類、weeksカバーでは9種類の、素材や製法もさまざまな生地が使われています。内側には、ちょうちょの刺繍が入っているのもポイントです。



・手帳カバー（オリジナルサイズ・A6）「ミナ ペルホネン/piece, (original spring mix)」：18,370円～19,470円
※手帳本体+カバーのセット。カバーのみは16,500円。

・手帳カバー（カズンサイズ・A5）「ミナ ペルホネン/piece, (cousin spring mix)」：24,860円～26,730円
※手帳本体+カバーのセット。カバーのみは22,000円。

・手帳カバー（weeks）「ミナ ペルホネン/piece, (weeks spring mix)」：24,200円
※カバーのみ

●50点以上の植物図を展示！『牧野植物園がやってきた展。』を渋谷PARCOで開催。

ほぼ日が渋谷PARCOの8Fで運営するイベントスペース「ほぼ日曜日」で、牧野富太郎博士が描いた植物図の複製を50点以上も並べて展示する『牧野植物園がやってきた展。』を開催します。「牧野植物園」は高知県の山にひろがる広大な自然のなかで牧野博士のことを伝えてくれる場所です。牧野博士という人物と膨大な仕事のほんのひとかけらを、牧野植物園への入口のように紹介します。「ほぼ日手帳2023 spring」における牧野富太郎博士の植物図を用いたラインナップも会場でも販売します。



※詳細はこちら

<https://www.1101.com/hobonichiyobi/exhibition/5633.html>

期間：2月1日(水)～3月5日(日)

時間：11:00～20:00

場所：ほぼ日曜日

(渋谷区宇田川町15-1 渋谷PARCO 8階)

入場料：無料

【世界中で愛されている「ほぼ日手帳」】

ウェブサイト「ほぼ日刊イトイ新聞」から生まれた「ほぼ日手帳」は、2023年版で22年目を迎えたロングセラー商品です。コンセプトは『LIFEのBOOK』。自分の生活やスタイルにあわせて自由にのびのび使える手帳として、言語や文化を飛びこえて人気が広がり、2022年版は世界の156の国や地域で、72万部を売り上げました。2021年には、長年にわたり人々から高い支持を得ているデザインとして「グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」を受賞しています。

定番の1日1ページの手帳本体は、A6サイズの「オリジナル」とA5サイズの「カズン」の2種類。書きやすい3.7ミリ方眼、パタンと180度開く造本、ほぼ日刊イトイ新聞から厳選して1日1つずつ掲載された「日々の言葉」などが特徴です。組み合わせる使える手帳カバーは毎年多彩なラインナップを展開。その他、週間手帳「weeks」、5年間を1冊に記録できる「5年手帳」、月間カレンダーと方眼ノートを組み合わせた「day-free」など、種類もデザインも豊富なラインナップを取り揃えています。

※ほぼ日手帳公式サイト：<https://www.1101.com/store/techo/>



●取材の問い合わせ先・プレスキット

株式会社ほぼ日 担当：藤野 メールアドレス：press@1101.com 電話：03-5422-3801

※本プレスリリースに関する画像素材：<https://1101.jp/3kyI3M8>